

花さんぽ2024

花さんぽ実行委員会

■活動内容

昨年までのいろんな、まち歩きイベントに加えて、

- 地域の芸術作品を一堂に！花さんぽ美術館開催
- 子どもたちのやりたいを地域の方と一緒に展示の公園ギャラリー
- 外国語で話したい人あつまれ！トーキングテーブル
- お散歩クイズポイントで隅々までウォーキング
- ラッキーさん正解チェックで、個人からのプレゼント
- 公式LINEで花さんぽ情報共有
- 花さんぽループバスで、行けなかった場所にも訪問！

■コンセプト・ねらい

- 半数が 65 才以上の高齢社会の豊能町で、高齢者でも参加でき、若い人と一緒に交流できるイベントづくり。
- 地域を知って、自分の地域の人、才能、地理を人に伝えられるよう、楽しんで、旧友だけでなく、繋がりを増やしていける場所にしたい。
- スタッフもボランティアも、お客さん地域の方も、楽しんで参加できる企画を作る。

■活動実績

昨年までのイベント

- *ウエルカムガーデン(中に入って楽しむお庭)
- *外から見るお庭(玄関先を楽しむお庭)
- *まちナビツアー (ガイドさんにルート案内してもらう)
- *らっきーさんをさがせ！ (すべての地区のシールを集めるといいことが)
- *寄り道イベント (同時開催イベント)
- *ゲリラライブ (ふらっと公園でライブがあるかも)

以下新イベント

- ・花さんぽループバス

遠くの地区に見に行きやすくなった。他の地区の同じ興味のある方に見に来てもらってつながることができた。無料で嬉しかった。バスが可愛かった。との多くの反響がある一方で、バス停が見にくい、時刻表を作ってほしい、便数を増やしてほしいなどの意見あり。無料バスがあるという安心感は格別のようでした。たくさんの方に喜んでいただけました。

- ・花さんぽ美術館

ご近所も知らない、地域の方の力作を一堂に！との思いで、3月末から作った美術館。豊能町にこれだけの作家さん、大きな作品があるということで大反響でした。配置、感想ノートや来場者カウントをする方法を考えるなどが反省点。

- ・花さんぽわくわく公園ギャラリー

大人だけでなく、ちびっこの作品も展示する場所を作って、ちびっこと地域の方の交流の場になればと思って作ったイベントですが、周知が遅かったのか、子供も忙しいのか、作品数が集まらず、少し寂しくなりましたが、開催したことで逸材を発見することもできました。今回の助成ポイントでもある『萌芽性』を大切にして、子供たちの表現の機会を広げられるようにもっと今後も考えて行こうと思っています。

- ・トーキングテーブル

外国語を話すチャンスをと、ちょっと話してみたい場所を作ってみました。来てくれるかな？と思っていた小中学生よりも、とても語学の堪能な人たちが立ち寄ってくれました。全員ボランティアにスカウトしたいぐらいでした。今後もきっかけづくりをすると共に、その活動イメージを広めたいと思っています。

- ・おさんぽクイズ

隅々まで、地域を歩いていただきたいという思いで作った、クイズポイント。ちょっとひねって、もうちょっと難しく〜とスタッフからの挑戦状でしたが、難しすぎて解けない方が多かったです。また、ラッキーさんが見つからず丸をもらえなかった方も・・・クイズは簡単に。

- ・公式 LINE

3月までは無料プランで月に1度の発信でしたが、4〜6月は有料プランに変更し、花さんぽ情報を毎日発信しました。登録された方からの応援も力になりました。しかし登録することが怖いと思われる方も多く、登録件数の伸び悩みが課題です。公式 LINE をもっとわかりやすく発信できるように努力します。

- ・地域毎関係者グループ LINE

どんどん、変わる情報を参加者や関係者に伝えるために高齢者もグループ LINE に入ってもらえるよう活動しましたが、LINE をされていない方も多く、連絡が個別の訪問になる方もおられますが、印刷経費削減やスタッフの負担軽減のためにも、次回もお願いする予定です。しかし、地区ごとで活発な交流が生まれ、グループ LINE を作ったことは大成功と思います。

■成果・効果

人口 18000 人で、50%が 65 歳以上の高齢者が占め、若者の流出の歯止めがきかず過疎が進み、豊能町民祭も経費がなく中止になった豊能町で、それでも何か、地域外からも来てもらえて、住民が自らの手で楽しめ、自信につながることをやりたいと主婦 3 人で、手探りで始めた花さんぽでしたが、今年度も、参加者 313 人以上のイベント参加者、ボランティアとしてお手伝いして下さった方が延 270 人以上となり、関係者は 580 名以上と前回を上回りました。否定的なお声も聞くことがなく、地域の方が花さんぽを認知してくださっているのをうれしく思います。

また、町外からも、町がきれい、公園もあれをしてはダメこれをしてはいけない！の注意書きが一つもなく、住民の道徳的意識が高く、安らげる公園だねとか、空気がきれい、住みたいわなど、豊能町に来てみていただき、地域の方も当たり前で気づかないことが分かったことも嬉しかったです。

若い方だけでなく、高齢者もスタッフがサポートすることで、イベント出店できる楽しさを味わっていただけたようで、また、地域の方とのつながりがどんどん広がりました。貴財団の助成で循環バスを通すことで、遠くて行けなかった地域の方とのつながりができた、友達になれたとの嬉しい声も多く、地域を知っていただくこと、自信を持っていただくことができました。

イベントの数を多くして、おもちゃ箱をひっくり返したような花さんぽでおさんぽしていただくことで、誰にでもヒットする素敵！うれしい！楽しい！を味わっていただけたのではないかと考えています。

■今後の展開

イベント参加者のカウント方法がわからず、ご来場いただけた地域の方、楽しんでくださった地域外のお客さんも、たくさんのお声はいただきましたが、残念ながらわかりませんでした。ただ、普段は誰も歩いている人を見ない、豊能町が雨の日でも傘をさして、たくさんの方が歩かれて楽しんでいたのを見ると、やりがいがあると感じております。今後來場者数もカウントできる方法を模索します。

スタッフが3名と手が回らず、賑わい写真を記録にあまり集められなかったことが少々残念です。今後、カメラマンスタッフをお願いするとともに、地域の方の連絡方法も、スタッフがなるべく楽にできるように、方法を考えていくつもりです。

地域の方、ボランティアの方もイベントの数が多くなりすぎてない？頑張りすぎないで、数を減らしたら？の心配もいただくのですが、スタッフも楽しみながら、スタッフのやりたい、参加者の嬉しい、来場者の楽しいを目標に来年度も企画する予定です。

しかし、このイベントは平和な豊能町だからこそ開催できるイベントだと、町外からお越しの皆様から沢山意見をいただきました。みんながマナーを守って、花をいつくしみ、お庭も気を配ってみるからこそ、公開できるし、防犯上都会では無理なイベントであるとの指摘もありました。それなら、豊能町でこそできるイベントを大事に、事故や事件のないよう心を引き締めて今後も継続していきたいと思っています。

前年度実証実験された AI オンデマンドバスが来年度運行できれば、バスの経費も掛からないと思っていましたが、来年度の運行は難しいようです。

来年度も花さんぽループバスを運行させるかどうかも含めて、考えていきたいと思っています。



